

「薬害を学ぼう」用ワークシート【例】

※このワークシート【例】は、立命館宇治中学校が作成したワークシートを基に、厚生労働省が改編したものです。

薬 害 を 学 ぼ う	糸 且	名 前	
-------------	-----	-----	--

- ◇ 副作用と薬害とはどこがちがうのか、薬害の歴史を調べながら考えてみよう。
- ◇ 薬害の歴史を学ぶとともに、なぜ薬害が発生したのか考えてみよう。
- ◇ どうすれば薬害をなくすることができるのか。それぞれの立場で考えてみよう。

1 1～2ページの年表を見ながら、表中に当てはまる薬害を書き入れてみよう。

薬害の起こった年	薬害の名前	薬害の起こった年	薬害の名前
1948（昭和23）年 ～1949（昭和24）年		1973年（昭和48）年頃	解熱剤による四頭筋短縮症
1953（昭和28）年頃 ～1970（昭和45）年頃	キノホルム製剤による スモンの発生	～1988（昭和63）年頃	
1958（昭和33）年頃 ～1962（昭和37）頃		1989（平成元）年 ～1993（平成5）年	
1959（昭和34）年頃 ～1975（昭和50）年頃		～1997（平成9）年頃	
1970（昭和45）年代頃～	陣痛促進剤による被害	/	血液製剤によるC型 肝炎ウイルス感染

2 次の作業をしてみましょう。

- (1) 1～2ページの年表中の薬害について解説した文章を読み、共通すると思われる内容にアンダーラインを引いてみよう。
- (2) (1)のアンダーラインを読みながら、薬害発生について、どのような共通点があるかを考え、文章にまとめてみよう。

3 3ページのスモン被害者高町さんの証言と5ページの「キノホルム製剤によるスモンの発生」を読み、薬害がなぜ発生したかについて、まとめてみよう。

4 3ページのサリドマイド被害者増山さんの証言と6ページの「サリドマイド剤による胎児の障害」を読み、薬害がなぜ発生したのかについて、まとめてみよう。

5 下記の(1)～(4)は、それぞれ社会の中でどんな役割を果たしているでしょうか。5ページの「関係者には、それぞれどのような役割があるのだろうか？」の図と6ページの「もっと詳しい役割を見てみよう！」を参考にして、まとめてみよう。

- (1) 国／PMDA（医薬品医療機器総合機構）、(2) 製薬会社、
- (3) 国民（消費者）、(4) 医療従事者（医療機関）／薬局

(1) 国／PMDA（医薬品医療機器総合機構）

(2) 製薬会社

(3) 国民（消費者）

(4) 医療従事者（医療機関）／薬局

6 下記の(1)～(4)は、それぞれの立場から、どのようにしたら薬害の発生を防ぐことができるのか、5ページ、6ページを見て考えてみよう。

- (1) 国/PMDA (医薬品医療機器総合機構)、(2) 製薬会社、
(3) 国民 (消費者)、(4) 医療従事者 (医療機関) / 薬局

(1) 国/PMDA (医薬品医療機器総合機構)

(2) 製薬会社

(3) 国民 (消費者)

(4) 医療従事者 (医療機関) / 薬局

7 薬害が起こらない社会にするためには、社会をどのようなしくみに変えねばならないのでしょうか。考えてみよう。